

昭和村学校施設長寿命化計画
(個別施設計画)

令和3年3月

目 次

第 1 章 学校施設の長寿命化計画の背景・目的の整理	1
(1) 背景.....	1
(2) 目的.....	1
(3) 計画期間.....	1
(4) 計画の位置付け.....	2
第 2 章 学校施設の目指すべき姿の検討	3
(1) 教育の基本目標.....	3
(2) 学校施設の目指すべき姿.....	4
第 3 章 学校施設の運営状況・活用状況等の実態把握	5
(1) 対象施設一覧.....	5
(2) 学校施設の保有量.....	5
(3) 児童数・生徒数の変化と今後の推計.....	6
(4) 学校施設の配置状況.....	8
(5) 対象施設の施設関連経費.....	9
第 4 章 学校施設の老朽化状況の実態把握	11
(1) 劣化状況評価.....	11
(2) 学校施設の今後の維持・更新コスト（従来型）.....	14
(3) 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）.....	16
(4) 学校施設の運営状況・活用状況を踏まえた現状と課題の整理.....	18
第 5 章 施設整備の基本的な方針等に係る検討	19
(1) 学校施設の規模・配置計画等の方針.....	19
(2) 改修の基本的な方針.....	22
第 6 章 長寿命化計画の策定	24
(1) 改修等の優先順位付けと実施計画.....	24
(2) 長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果.....	25
第 7 章 長寿命化計画の継続的運用方針の検討	28
(1) 情報基盤の整備と活用.....	28
(2) 推進体制等の整備.....	28
(3) フォローアップ.....	28

第1章 学校施設の長寿命化計画の背景・目的の整理

(1) 背景

本村においては、厳しい財政状況が続く中、公共施設等の老朽化が進行し、また人口減少等により公共施設の利用需要が変化していくことが予想されます。そのため、早急に公共施設等の全体の状況を把握し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を実現することが必要になっています。

特に学校施設は、未来を担う子供たちが集い、生き生きと学ぶ場であり、日常生活の多くの時間を過ごす生活の場でもあります。また、地域住民にとっては、地域活動の場であり、非常災害時には避難所としての役割も果たす重要な施設です。

そのためにも、充実した教育活動を存分に展開できる場として機能的な施設環境を整える必要があり、また、豊かな人間性を育むのにふさわしい、快適で十分な安全性、防災性、防犯性や衛生的な環境を備えた場として、学校施設を維持する必要があります。

(2) 目的

本村では、公共施設やインフラ全体における整備の基本的な方針として昭和村公共施設等総合管理計画（平成29年3月）、以下「総合管理計画」という。）を策定し、限られた財源の中で、施設を安全・安心に利用できるよう、住民サービスの維持・向上が図れるよう取り組みを進めているところです。

本計画は、総合管理計画を踏まえた個別施設計画として、公共施設のうち学校施設を対象にして、今後の学校施設の在り方と維持保全の方向性を検討するとともに、現地調査等を踏まえた現状評価を行い、保全優先度を勘案した学校施設全体の中長期的な施設整備の具体的方針を定めることを目的とします。

(3) 計画期間

令和3（2021）年度～令和12（2030）年度（概ね5年ごとに見直し）

本計画の計画期間は令和3（2021）年度～令和12（2030）年度の10年間とします。

なお、本計画の維持・更新コストの試算期間は40年とします。また、施設の老朽化状況等の実態を継続的に把握し、PDCAサイクルによる実行システムを構築した上で、計画を概ね5年ごとに見直すものとします。

(4) 計画の位置付け

本計画の位置付けは次のとおりです。



図 1-1 : 計画の位置付け

第2章 学校施設の目指すべき姿の検討

(1) 教育の基本目標

第6次昭和村振興計画（令和3年3月昭和村）では、本村の教育の基本目標を次のとおりに掲げています。

基本目標

生きる力を育む教育のむら

施策項目1

特色ある教育システムの構築

施策の目指す姿・方向性

- ・小中一貫校が設置され、保育所とも密接な連携を図り、子どもたちが着実に「生きる力」を身につけています。
- ・地域の自然や文化、人財を生かした特色ある教育が行われ、故郷に誇りを持ち、村を愛する人間性豊かなたくましい子どもが育っています。

施策項目2

心地よく子どもを育てられる環境

施策の目指す姿・方向性

- ・安心して、就労と両立できる子育て環境が構築されています。
- ・「この村で子どもを育てたい」と移住する方が現れています。
- ・保育所等でも、教育力の強化が図られています。

資料：第6次昭和村振興計画（令和3年3月 昭和村）

(2) 学校施設の目指すべき姿

第6次昭和村振興計画を踏まえつつ、学校施設整備基本構想の在り方について（学校施設の在り方に関する調査研究者会議 平成25年3月）を参考に、本村の学校施設の目指すべき姿の整理を行います。

1. 安全性・快適性を備えた施設環境

- ・学校施設は、児童・生徒にとって学びの場であるとともに生活の場であることから、災害対策や防犯・事故対策があり、快適な学習環境を維持しなければなりません。また、将来を担う子どもたちが、愛着と誇りをもって村づくりを担うことができるよう、様々な社会体験や放課後の居場所として施設環境を整えます。

2. 学習活動への適応性を確保する施設環境

- ・学校施設は、基礎的な学力の定着を図る子供たちの学びの場であることから、効果的・効率的に、充実した教育ができる機能的な施設環境を整えます。

3. 地域活動の拠点施設としての施設環境

- ・学校施設は、地域住民にとって地域活動の場であり、非常災害時には避難所としても重要な役割を果たす場であることから、安全・安心な施設環境を整えます。

資料：第6次昭和村振興計画（令和3年3月 昭和村）

参考：昭和村教育大綱

参考：学校施設整備基本構想の在り方について（学校施設の在り方に関する調査研究者会議 平成25年3月）

第3章 学校施設の運営状況・活用状況等の実態把握

(1) 対象施設一覧

本計画の対象施設は、3施設6棟(延床面積 7,192 m²)です。

表 3-1：学校施設一覧（3施設6棟）

施設名	建物名	建築年度	経年数	階数	構造※	延床面積 (m ²)	児童・生徒数 (人)	学級数	大規模改造実施
昭和小学校	校舎	1979	41	3	RC	2,456	27	3	無
	給食室	1979	41	1	RC	272			無
	屋内体育館	1979	41	1	RC	1,058			無
昭和中学校	校舎・食堂	1984	36	3	RC	2,158	13	3	無
	屋内体育館	1984	36	1	SRC	1,059			無
学校給食センター	学校給食センター	1972	48	2	S	189			無
学校施設 合計						7,192	40	6	

※ 構造の RC は鉄筋コンクリート造 S：鉄骨造 SRC：鉄骨鉄筋コンクリート造を指します。

以下、構造記号は同じ意味です。

出典：昭和村学校施設台帳 令和元年度時点

(2) 学校施設の保有量

本村の学校施設の築年別整備状況は、次のとおりです。

このうち、全ての建物が建築後 30 年以上を経過しています。

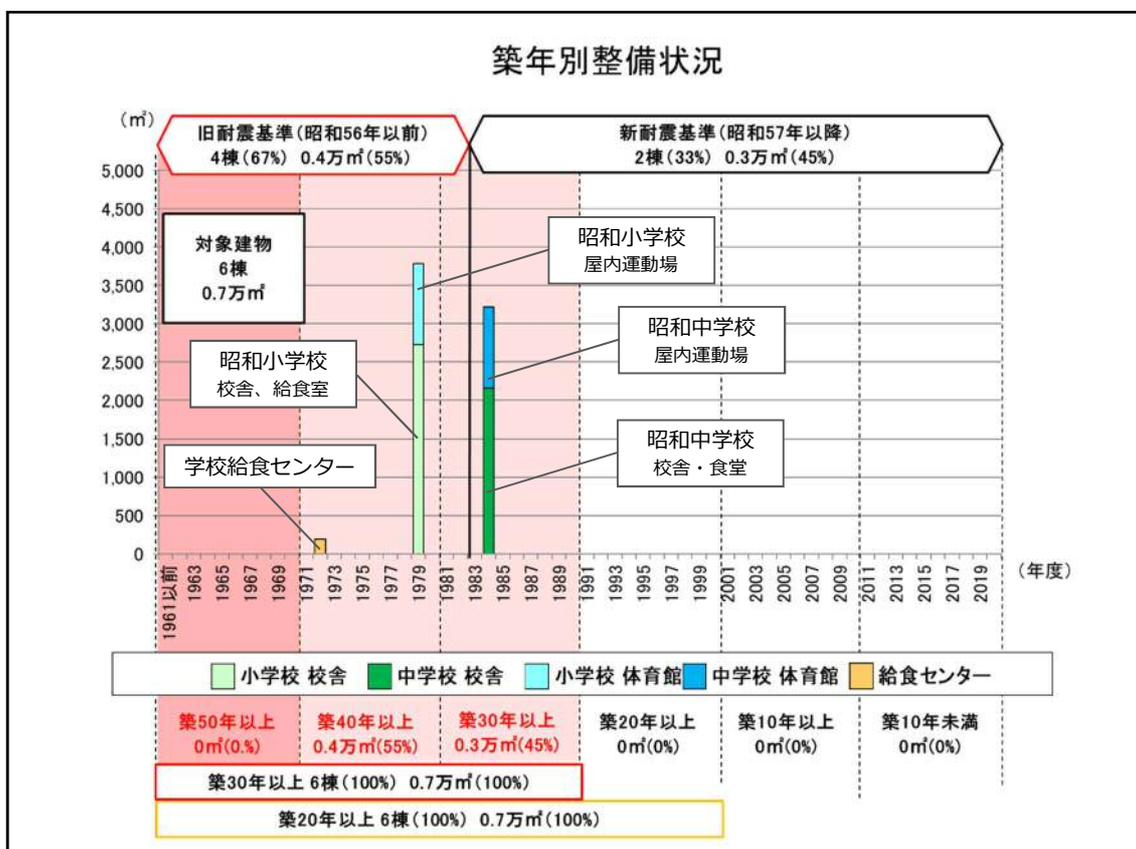


図 3-1：学校施設の保有量

(3) 児童数・生徒数の変化と今後の推計

ア. 児童数

本村における2020年（令和2年）の児童数は27人です。ここ数年は横這いで推移しています。

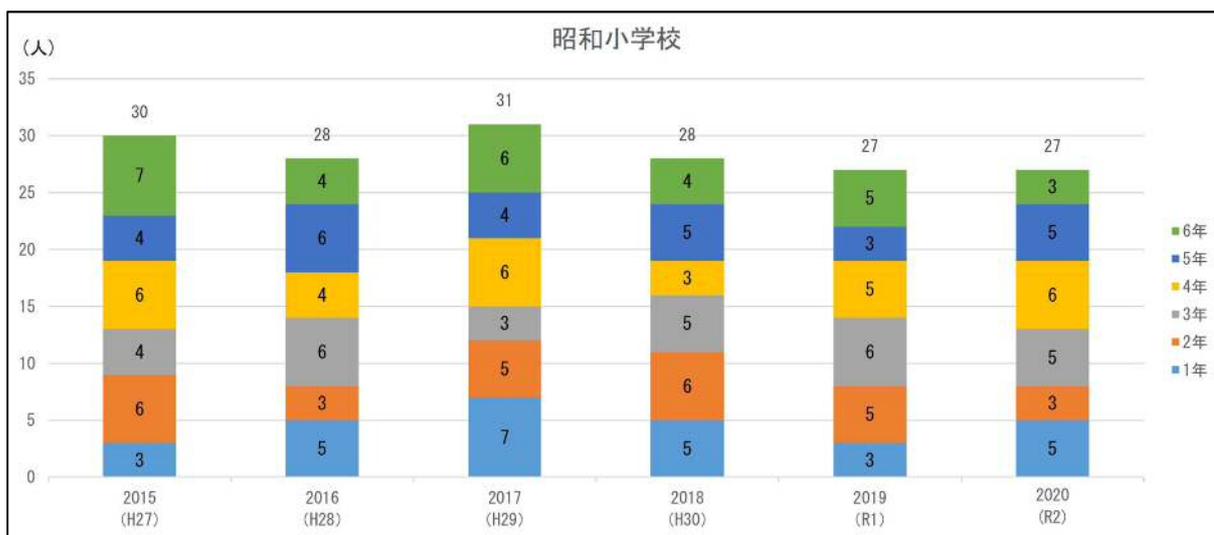


図 3-2 : 児童数の推移

イ. 生徒数

本村における2020年（令和2年）の生徒数は12人です。過去5年で見ると緩やかに減少しています。

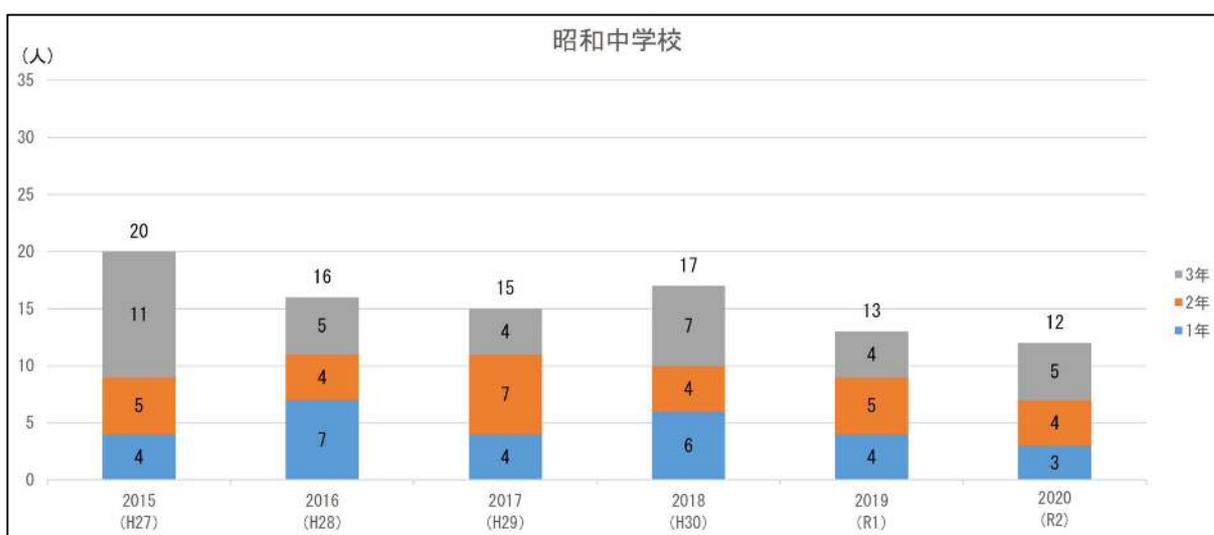


図 3-3 : 生徒数の推移

ウ. 人口ビジョンによる児童数・生徒数の見通し

本村における2020年（令和2）年の児童数・生徒数は39人で、これからも減少し続けると推測されます。人口ビジョン^{※1}に基づく将来推計値から20年後の2040年の児童数・生徒数は23人と予想されます。

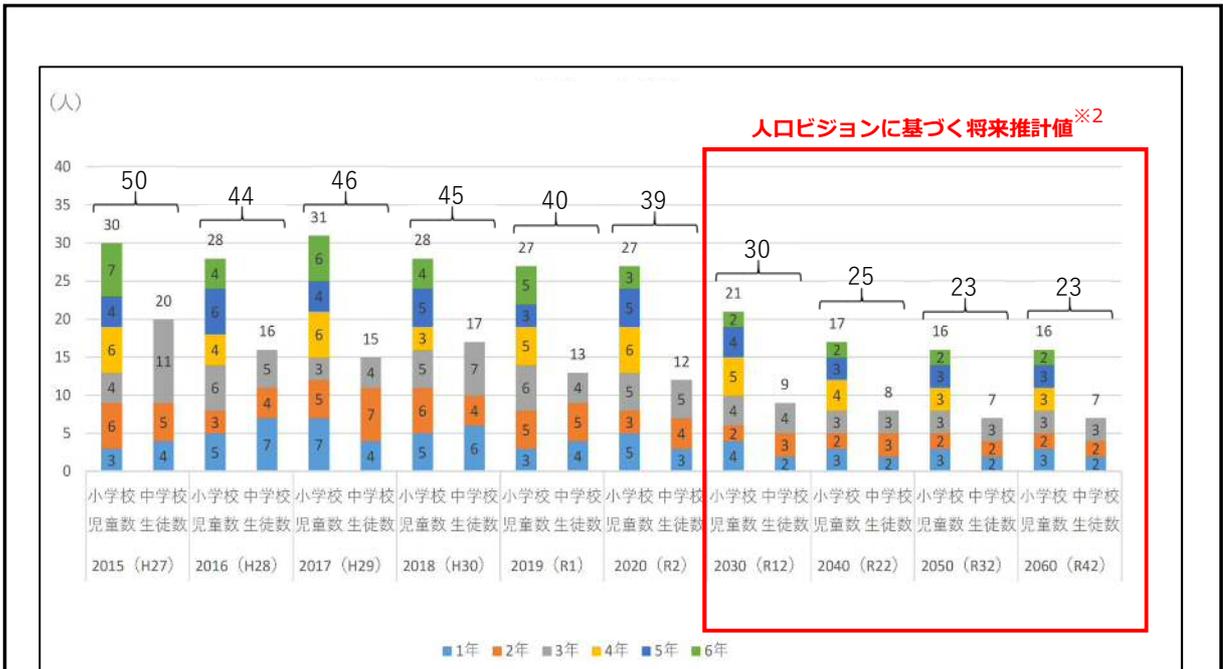


図 3-4 児童数・生徒数の将来推移

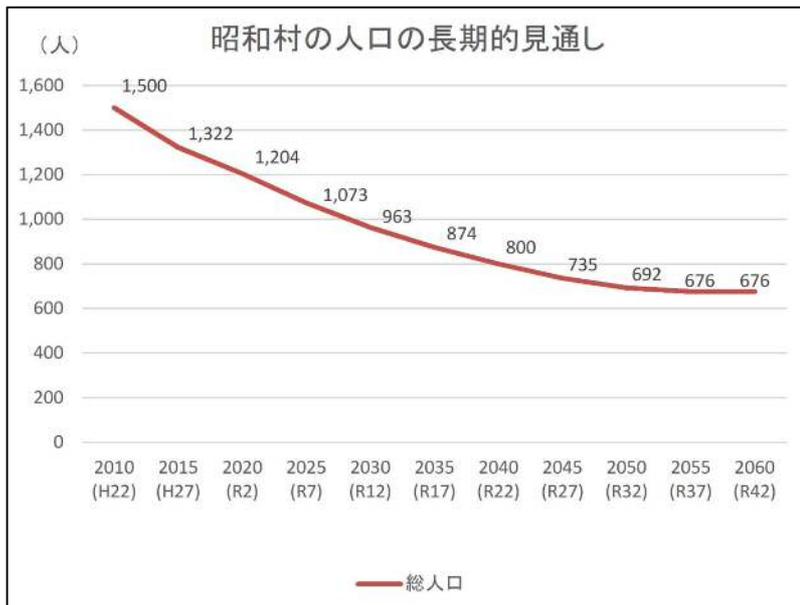


図 3-5 : 昭和村の人口の長期的見通し

出典：昭和村人口ビジョン（令和2年12月 福島県昭和村）

※1 昭和村人口ビジョン（令和2年12月 福島県昭和村）

※2 児童数・生徒数の将来推計方法（変化率法による推計） R2（2020）年からR22（2040）年の児童数・生徒数は人口ビジョンの将来人口を参考に、R2（2020）年を100として年少人口の変化率を求め、将来の各学年の児童数・生徒数を推計しています。

(4) 学校施設の配置状況

本村の学校施設の配置は次のとおりです。



背景図：国土地理院地図を加工して使用

図 3-6：学校施設の配置状況



背景図：国土地理院地図を加工して使用

図 3-7：学校施設の配置状況（拡大図）

(5) 対象施設の施設関連経費

本村の学校施設における過去5年間の施設関連経費は、年平均で約0.2億円です。

表 3-2：過去5年間の施設関連経費

学校施設合計

単位：千円

	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	年平均
施設整備費	0	4,244	7,050	7,574	26,235	9,021
その他施設整備費	32	0	0	994	0	205
維持修繕費	539	3,948	1,899	5,275	1,454	2,623
光熱水費・委託費	9,098	10,086	9,801	9,929	9,743	9,731
合計	9,670	18,278	18,750	23,772	37,432	21,580

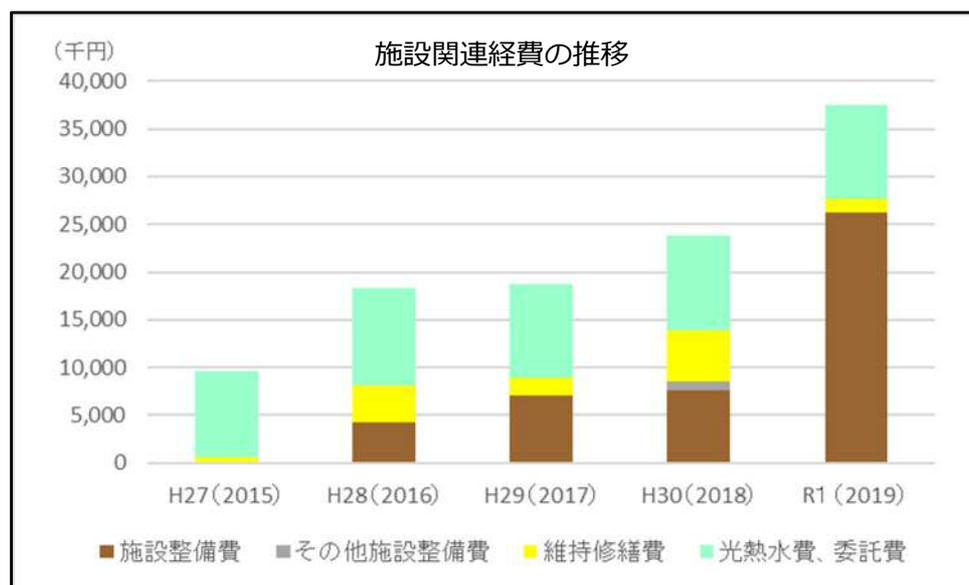


図 3-8：過去5年間の施設関連経費

表 3-3 : 施設ごとの過去 5 年間の施設関連経費

昭和小学校

単位：千円

	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	年平均
施設整備費	0	3,240	2,481	4,436	12,724	4,576
その他施設整備費	32	0	0	0	0	6
維持修繕費	282	131	989	3,992	199	1,118
光熱水費・委託費	3,912	4,391	4,079	4,135	4,319	4,167
合計	4,226	7,762	7,549	12,563	17,243	9,868

昭和中学校

単位：千円

	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	年平均
施設整備費	0	1,004	4,569	3,138	12,744	4,291
その他施設整備費	0	0	0	994	0	199
維持修繕費	194	3,215	388	1,267	963	1,205
光熱水費・委託費	3,129	3,709	3,568	3,595	3,416	3,483
合計	3,323	7,929	8,525	8,993	17,123	9,179

学校給食センター

単位：千円

	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	年平均
施設整備費	0	0	0	0	767	153
その他施設整備費	0	0	0	0	0	0
維持修繕費	64	601	522	16	291	299
光熱水費・委託費	2,056	1,986	2,154	2,199	2,008	2,081
合計	2,120	2,587	2,676	2,216	3,066	2,533

第4章 学校施設の老朽化状況の実態把握

(1) 劣化状況評価

劣化状況評価は、本計画の対象施設に対し、「構造躯体の健全性」と「構造躯体以外の健全性」の2つに分けて把握・評価します。

ア. 劣化状況評価の流れ

本計画の対象施設について、事前に各施設の既存資料の収集や施設の基本的な情報と状況を整理・把握したうえで、劣化状況評価を実施しました。

次に劣化状況評価の作業フローを示します。

- | | |
|-----|--|
| I | 事前調査（学校施設基本情報を把握するための既存資料調査） |
| | <ul style="list-style-type: none"> 学校施設台帳を基に対象施設の用途、規模（階数・面積）、構造や建築年度の調査 耐震診断実施状況及び設計書などからの必要情報の調査 設計及び工事図面などから平面・仕様・設置設備内容等の把握をするとともに、調査図面の作成 建築基準法 12 条点検報告や保守点検状況等の既存点検結果確認 過去の修繕履歴の確認 |
| II | 事前調査（劣化状況評価票に関するデータの入力） |
| | <ul style="list-style-type: none"> 収集した資料を基に、計画及び調査に必要なデータの整理を行う |
| III | 事前調査（現地調査の事前準備） |
| | <ul style="list-style-type: none"> 劣化状況の現地確認のため学校施設配置・平面図・立面図、点検機材の準備 各学校の施設管理者との工程の調整 |



- | | |
|----|---|
| IV | 劣化状況評価の実施 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 建築技術者による現地調査と評価の実施および既存点検結果から評価の実施 現地調査報告【劣化状況調査票】【調査結果表】【関係写真】 |
| V | 劣化状況評価の評価基準（A～D の4段階評価） |
| | <ul style="list-style-type: none"> 屋根・屋上、外壁、内部仕上げ（現地にて目視による確認を行い評価） 電気設備、機械設備（部位の全面的な改修年から経過年数を基本に評価） |

評価基準		経過年数による評価	
目視による評価【屋根・屋上、外壁】		【内部仕上げ、電気設備、機械設備】	
評価	基準	評価	基準
良好	A 概ね良好	良好	A 20年未満
	B 部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)		B 20～40年
	C 広範囲に劣化(安全上、機能上、不具合発生の見)		C 40年以上
劣化	D 早急に対応する必要がある(安全上、機能上、問題あり) (躯体の耐久性に影響を与えている) (設備が故障し施設運営に支障を与えている)等	劣化	D 経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合

VI 建物健全度の算出

- 各建物の部位について劣化状況を4段階で評価した結果、100点満点で数値化

$$\text{総和(部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分)} \div 60 = \text{健全度}$$

イ. 構造躯体の健全性評価

構造躯体の健全性は、建物の建築年度から耐震安全性を把握し、構造躯体の健全性について判定します。

新耐震基準^{※1}は「長寿命」と判定します。旧耐震基準^{※1}のうち、RC造は耐震診断結果から耐震性の確認を行い、「長寿命」と判定します。耐震性がない場合、「改築」または「廃止」と判定します。給食センター（旧耐震基準、S造）は建物躯体の老朽化が著しく、また残存する耐用年数も少ないため「改築」と判断します。

表 4-1：構造躯体の健全性評価

■：築50年以上 □：築30年以上

基準年：令和2（2020）年

建物基本情報							構造躯体の健全性					
施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延床面積 (㎡)	築年数	耐震安全性			長寿命化判定		
							基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度 (N/mm ²)	試算上の区分
昭和小学校	校舎	001	RC	3	2,456	41	旧	済	済	-	-	長寿命
昭和小学校	屋内運動場	002	RC	2	1,058	41	旧	済	-	-	-	長寿命
昭和小学校	給食室	003	RC	1	272	41	旧	済	済	-	-	長寿命
昭和中学校	校舎・食堂	011	RC	3	2,158	36	新	-	-	-	-	長寿命
昭和中学校	屋内運動場	012-1	SRC	2	1,059	36	新	済	-	-	-	長寿命
学校給食センター	学校給食センター	001-1	S	1	189	48	旧	-	-	-	-	改築

※1 耐震基準

昭和56年6月に建築基準法が改正されています。ここでは耐震基準を昭和56年度以前の建物を「旧耐震」、昭和57年度以降の建物を「新耐震」に分類します。

ウ. 構造躯体以外の健全性評価

構造躯体以外の健全性は、建築基準法 12 条点検結果を参考に、評価を実施します。なお、既存の点検結果がない場合は建築技術者による現地調査を実施し、評価を実施します。そのうえで、建物ごとに劣化状況調査票をまとめ健全度の算出を行います。この健全度を用い、改修等の優先順位検討へ活用します。

表 4-2：構造躯体以外の健全性評価

A	概ね良好
B	局所、部分的に劣化が見られ、安全上、機能上、問題なし
C	随所、広範囲に劣化が見られ、安全上、機能上、低下の兆しが見られる
D	劣化の程度が大きく、安全上、機能上に問題があり、早急に対応する必要がある

■ : 築50年以上 □ : 築30年以上

基準年：令和 2（2020）年

建物基本情報							構造躯体以外の健全性					
施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延床面積 (㎡)	築年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
昭和小学校	校舎	001	RC	3	2,456	41	C	C	C	C	C	40
昭和小学校	屋内運動場	002	RC	2	1,058	41	A	C	C	C	C	45
昭和小学校	給食室	003	RC	1	272	41	C	C	C	C	C	40
昭和中学校	校舎・食堂	011	RC	3	2,158	36	C	C	C	B	B	49
昭和中学校	屋内運動場	012-1	SRC	2	1,059	36	B	C	B	B	B	65
学校給食センター	学校給食センター	001-1	S	1	189	48	C	C	C	C	C	40

※ 青文字は、建築基準法 12 条点検結果を参考に劣化状況評価を実施した施設です。

(2) 学校施設の今後の維持・更新コスト（従来型）

ア. 今後の維持・更新コスト算出の考え方

今後の維持・更新コストの算出の考え方は次のとおりです。

- ・改築：改築周期（築 50 年目）に、現状と同じ延床面積で改築を実施するものとし、2 年に工事費を均等分配するものとします。
- ・改築単価：改築単価は 330,000 円/㎡とします。
- ・大規模改造：改造周期（20 年）とし、築 20 年目と築 40 年目に、現状と同じ延床面積で工事を実施するものとします。築年数が 20 年以上経過した建物は 40 年目のみ計上するものとします。
- ・大規模改造単価：82,500 円/㎡（改築単価の 25%）とします。
- ・大規模改造単価（屋内運動場他）：72,600 円/㎡（改築単価の 22%）とします。

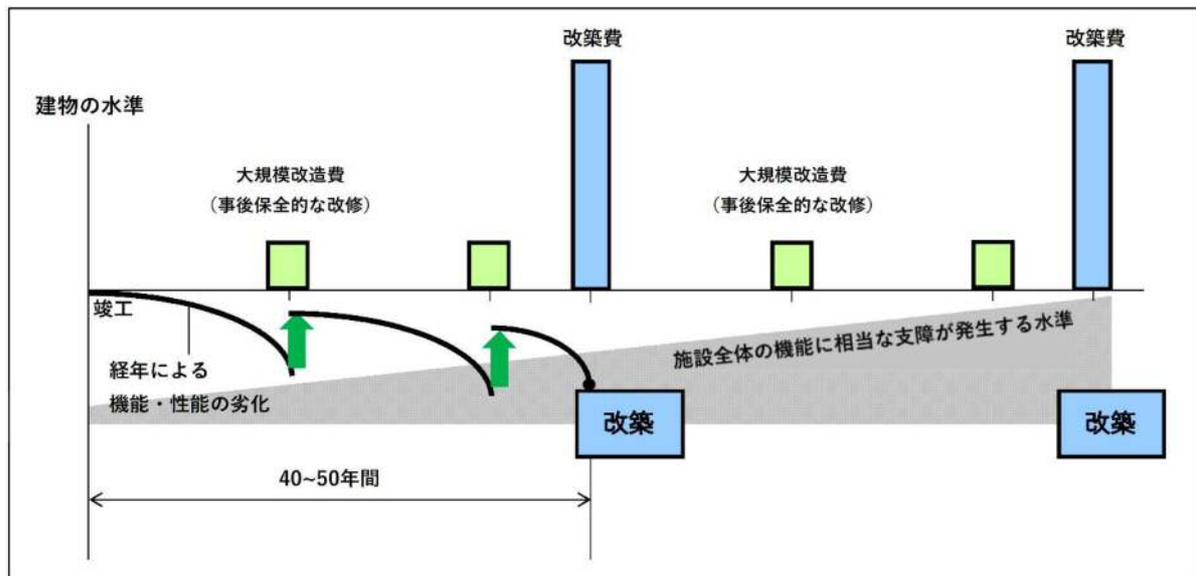


図 4-1 改築までのイメージ（従来型）

資料：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書(平成 29 年 3 月/文部科学省)

(3) 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）

ア. 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）の考え方

今後の維持・更新コスト（長寿命化型）の算出の考え方は、次のとおりです。

建物の目標使用年数：80年とします。

- ・長寿命化改修：改修周期（築40年目）に、現状と同じ延べ床面積で改修を実施するものとし、2年に工事費を均等分配するものとします。
築年数が40年以上経過した建物は、10年に工事費を均等配分します。
- ・長寿命化改修単価：198,000円/㎡（改築単価の60%）とします。
- ・大規模改造：改造周期（20年）とし、築20年目と築60年目に、現状と同じ延べ床面積で工事を実施するものとします。築年数が20年以上経過した建物は60年目のみ計上するものとします。
- ・大規模改造単価：82,500円/㎡（改築単価の25%）とします。
- ・大規模改造単価（屋内運動場他）：72,600円/㎡（改築単価の22%）とします。
- ・部位修繕の場合：今後10年以内に部位修繕を実施します。
（ただし、改築・長寿命化改修・大規模改造を今後10年以内に実施する場合を除きます。）

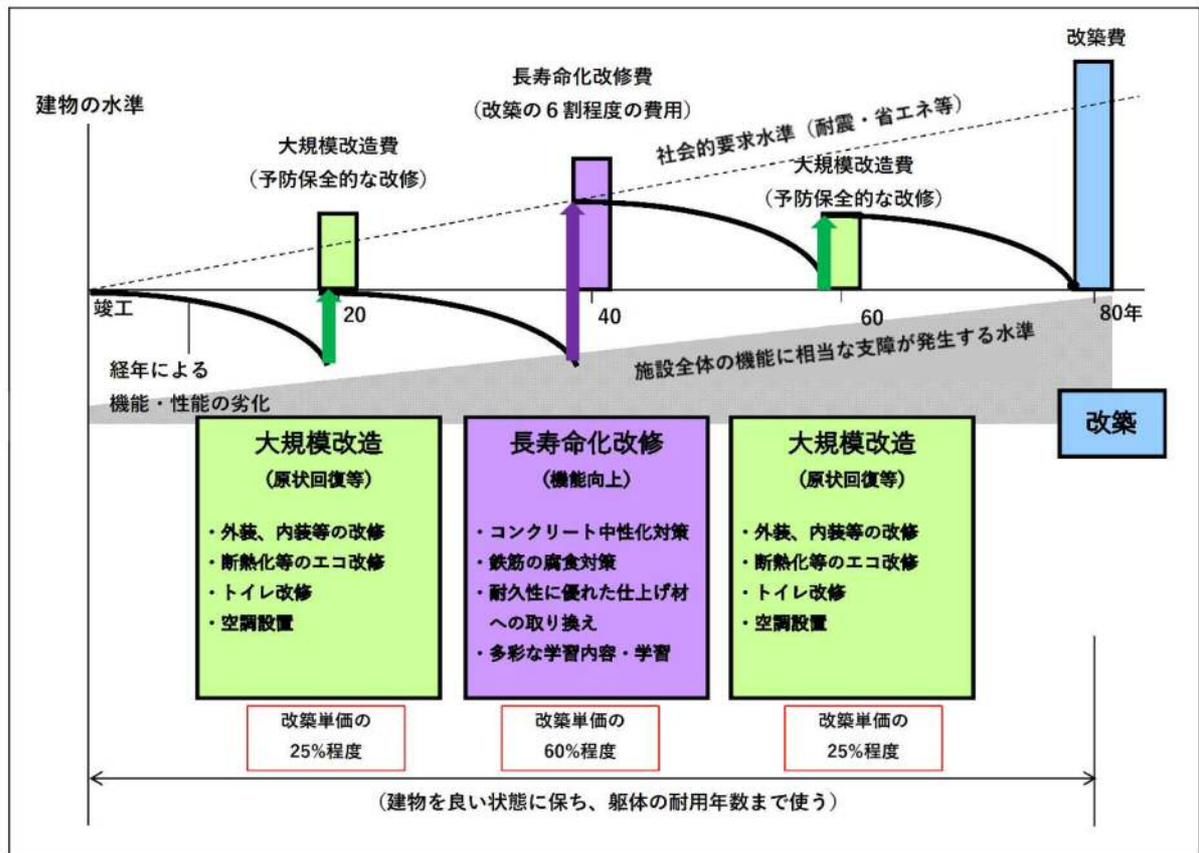


図4-3 改築までのイメージ（長寿命化型）

イ. 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）

今後40年間の維持・更新コスト（長寿命化型）は約37.7億円（1年あたり約0.9億円）のコストが必要になると試算され、過去の施設関連経費（1年あたり約0.2億円）の4.4倍に相当します。

従来型と比べても、維持・更新コスト（長寿命化型）の縮減効果が見られません。今後の少子化の影響を考慮し、規模を縮小した改築や小中一貫校を検討する必要があります。

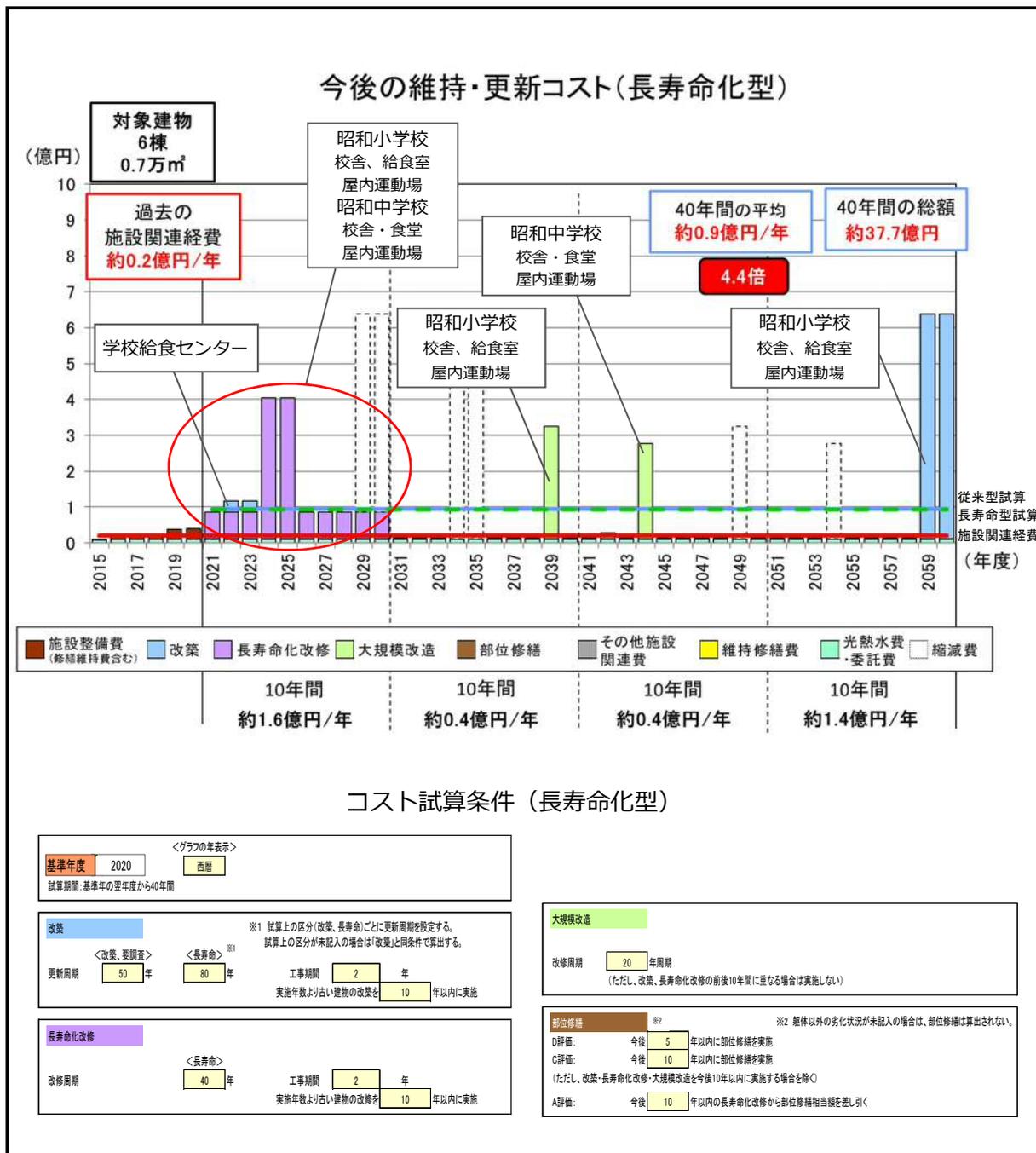


図 4-4：今後の維持・更新コスト（長寿命化型）

(4) 学校施設の運営状況・活用状況を踏まえた現状と課題の整理

現地調査及び運営状況等を踏まえた現状と課題は下記のとおりです。

表 4-3：学校施設の運営状況・活用状況を踏まえた現状と課題

施設名称	建物名	築年数	現状と課題
昭和小学校	校舎	41	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築後 41 年が経過しています。 ・ 全体的に劣化が見られるほか、校舎東側軒天雪等による損傷があります。 ・ 令和 2 年度に体育館の屋根の塗装を行っています。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 早期の大規模改造が必要であり、場合により小中一貫校など規模を検討した改築の必要があります。
	給食室	41	
	屋内体育館	41	
昭和中学校	校舎・食堂	36	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築後 36 年が経過しています。 ・ 全体的に劣化が見られます。 ・ 土砂災害特別警戒区域に含まれます。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 早期の大規模改造が必要であり、場合により小中一貫校など規模を検討した改築の必要があります。
	屋内体育館	36	
学校給食センター	学校給食センター	48	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築後 48 年が経過しています。 ・ 令和元年度に屋根の塗り替え、平成 20 年度に内装フロアの張り替えを行っています。 ・ 全体的に劣化が見られます。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建物躯体の老朽化が著しく、適地を選定し規模を検討したうえで早期に改築する必要があります。

第5章 施設整備の基本的な方針等に係る検討

(1) 学校施設の規模・配置計画等の方針

ア. 総合管理計画による公共施設の管理に関する基本的な考え方

総合管理計画による公共施設の管理に関する基本的な考え方は、次のとおりに整理されています。

① 点検・診断等の実施方針

- ・定期点検を引き続き適切に実施します。
- ・施設間における保全の優先度は、劣化診断等により、経年による劣化状況、外的負荷（気候天気、使用特性など）による機能低下状況及び管理状況を把握し、予防保全的な観点から検討します。

② 維持管理・修繕・更新等の実施方針

- ・施設の重要度や劣化状況に応じた長期的な視点で優先度をつけ、計画的に修繕・更新します。
- ・公共施設の維持管理や修繕に関する情報を公共施設マネジメントシステムに蓄積し、維持管理上の課題を適時に把握するとともに、今後の修繕に関する計画立案に役立てます。
- ・管理運営にあたっては、必要な公共サービスを適切なコストで提供するため、民間活いや創意工夫を最大限に活用できる仕組みとして、指定管理者制度など民間が連携した活用を検討します。
- ・新しい技術や考え方を積極的に取り入れ、維持管理・修繕・更新等を合理的に進めて行きます。
- ・維持管理を行っていくための財源を捻出するため、受益者負担の見直しを行っていきます。

③ 安全確保の実施方針

- ・点検・診断等により高度の危険性が認められた公共施設等について、ソフト・ハードの両面から安全を確保します。
- ・安全の確保にあたっては、災害拠点化どうか、多数の住民の利用がある施設であるかどうかなどの視点から、対応の優先度を検討します。
- ・今後維持していくことが難しい施設については、住民の安全確保の視点から、供用廃止といった処置を適切にとっていきます。

④ 耐震化の実施方針

- ・災害拠点かどうか、多数の住民の利用がある施設かどうかなどの視点から、耐震化の優先順位を検討します。
- ・建築から50年以上経過した建物で耐震化が完了していないものもことから、耐震化の検討を進めていきます。
- ・道路、橋梁、上下水などのインフラ施設についても、耐震化の検討を進めていきます。

⑤ 長寿命化の実施方針

- ・ライフサイクルコストの圧縮を意識し、必要な長寿命化を行っていきます。
- ・個別施設ごとの長寿命化計画の策定を進めていきます。
- ・公共施設の耐用年数等来年度（公共施設の更新の対応時期）を把握し、施設の長寿命化に必要な保全を行っていきます。
- ・住民とともに、大切に公共施設を取り扱っていくことで、少しでも長く公共施設を利活用できるように進めていきます。

⑥ 統合や廃止の推進方針

- ・今後の人口動態や住民ニーズの変化、財政状況に応じた、公共施設等の配置適正化に取り組み、最適な保有量を目指します。
- ・公共施設の見直しにあたっては、既存の状態にとらわれず、行政サービスとして必要な水準や機能などを意識した検討を行います。
- ・地域ごとの人口動態や住民ニーズを踏まえた再編を進めます。
- ・施設分類ごとに必要な保有量を見直し、機能の重複を解消していきます。
- ・効果的、効率的な施策を進めていくため、将来的な近隣自治体との広域連携の可能性も視野に入れながら、今後必要に応じて検討することとします。
- ・公共施設等を整備する場合には、ライフサイクルコスト圧縮と利便性の向上を意識した設計としていきます。
- ・インフラ施設についても、必要性和利用可能性を十分に精査し、維持管理経費の縮減を進めます。

⑦ 総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の構築方針

- ・本計画の進捗管理を行うため、各施設所管課の連携体制の強化を図り、公共施設等に関する取り組みを確実に進行させます。
- ・職員一人ひとりが、経営的感覚をもって、全体の最適化を意識した公共施設マネジメントの視点を持つため、研修会などを実施していきます。
- ・空間の有効活用や施設運営の合理性など、民間における新しい取り組みを積極的に取り組んでいきます。

イ. 学校施設に関する基本的な方針

学校施設に関する基本的な方針を次のように定めます。

学校施設長寿命化計画（個別施設計画）

学校施設に関する基本的な方針

（１）施設規模の適正化

- ・今後の児童・生徒数の増減や住民のニーズの変化、財政状態に応じた施設保有規模の適正化を検討します

（２）施設長寿命化の推進

- ・施設の適切な点検・診断等を行うとともに実施結果および不具合の修繕等を蓄積するメンテナンスサイクルを構築し、予防保全型の維持管理を推進します。
- ・施設の適正規模や適正配置等を踏まえ、今後も維持・活用する施設については、中長期的なトータルコストの縮減が見込まれる場合は、施設の長寿命化を推進します。
- ・施設利用の安全性や快適性のため、バリアフリー化をはじめ社会的要請へ対応した施設環境の整備を推進します。

（３）地域活動に対応した施設の活用

- ・学校、家庭、地域住民の連携による学校づくりを实践するため、生涯にわたる学習、文化、スポーツ、地域学校共同活動、防災拠点化など、住民に身近な施設の活用を推進します。

(2) 改修の基本的な方針

ア. 予防保全および点検・評価の方針

施設を長期的に使用するためには、劣化・破損等の不具合が生じた際に修繕等を行う「事後保全」だけでなく、不具合や故障が生じる前に予防的な修繕等を実施し、機能の保持を図る「予防保全」が重要です。「予防保全」は、施設機能が突発的に停止するリスクを低減させるほか、改修等に係る費用を計画的に計上することで、中長期的なトータルコストを下げることに繋がります。

また、「予防保全」を効率的・効果的に実施するため、構造躯体以外の劣化状況の点検・評価を実施します。点検については、有資格者等による専門的な点検を定期的実施するものとします。評価については、点検の結果を劣化状況調査票に反映するものとし、「予防保全」に役立てるものとします。

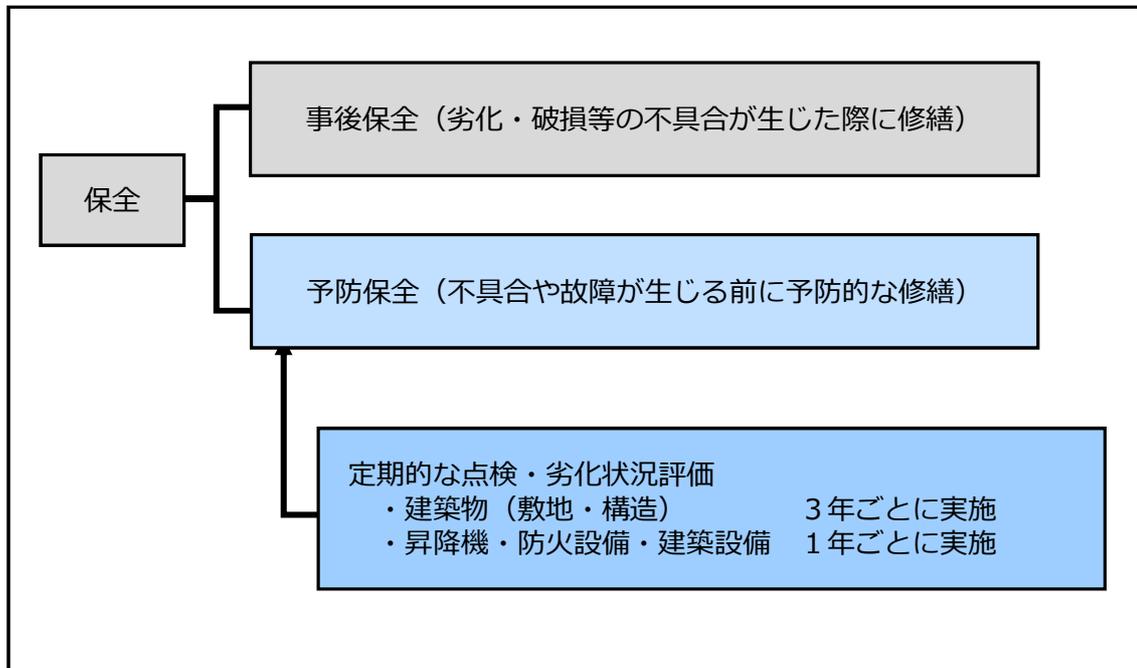


図 5-1：予防保全の考え方

イ. 目標使用年数、改築周期の設定

鉄筋コンクリート造および鉄骨造の物理的耐用年数は、適切な維持管理がなされることを前提に、普通品質では 50 から 80 年、高品質の場合は 80 から 120 年とされています。^{※1}

本村の対象施設における改修等の周期および目標使用年数を次のとおりに設定します。

表 5-1：改修等の周期および目標耐用年数

用途	大規模改造周期	長寿命化改修周期	目標使用年数
校舎および体育館	築 20 年 築 60 年	築 40 年	80 年

※1 出典：「建築物の耐久計画に関する考え方」（社団法人日本建築学会）機構

ウ. 改修等の整備水準

本村の対象施設における施設整備の水準は、今ある施設を長期間使うことを推進し、竣工時に回復するとともに、各部位の費用対効果を考慮した最適な仕様を設定します。また、社会的な要請に合わせた機能の高まりへ対応した維持・更新に努めます。

表 5-2：施設整備の水準の例

部位区分	設備区分	大規模改造	長寿命化改修	主な工事内容
		対象	対象	
建築	構造躯体（RC造）	－	★	中性化対策
	屋根	★	★	葺替、シート張替
	外部（外壁）	★	★	塗装または張替
	建具	－	★	交換
	内部仕上げ（床）	★	★	張替
	内部仕上げ（壁）	★	★	張替
	内部仕上げ（天井）	★	★	張替
電気	受変電（電気配線）	－	★	機器交換
	発電・静止形電源	－	★	機器交換
	電力	－	★	一式交換
	中央監視	－	★	機器交換
	通信・情報	－	★	機器交換
機械	空調	★	★	機器交換
	換気	－	★	一式交換
	自動制御	－	★	一式交換
	給排水衛生（給排水管）	－	★	一式交換
	消火	★	★	一式交換
	昇降機その他	－	★	機器交換
その他	社会的要請	★	★	バリアフリー対応等

※ ★…対象とする －…対象としない

第6章 長寿命化計画の策定

(1) 改修等の優先順位付けと実施計画

改修等の実施の優先順位は、健全度順に実施します。なお、同点の場合は築年数が高いものから検討します。

表 6-1：建物情報一覧表（健全度順に並びかえた場合）

- A 概ね良好
- B 局所、部分的に劣化が見られ、安全上、機能上、問題なし
- C 随所、広範囲に劣化が見られ、安全上、機能上、低下の兆しが見られる
- D 劣化の程度が大きく、安全上、機能上に問題があり、早急に対応する必要がある

 ：築50年以上 ：築30年以上

基準年：令和2（2020）年

建物基本情報							構造躯体の健全性					構造躯体以外の健全性						
施設名称	建物名	棟番号	構造	階数	延床面積 (㎡)	築年数	耐震安全性			長寿命化判定		屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)	
							基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度 (N/mm ²)							試算上の区分
学校給食センター	学校給食センター	001	S	1	189	48	旧	-	-	-	-	改築	C	C	C	C	C	40
昭和小学校	給食室	002	RC	1	272	41	旧	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40
昭和小学校	校舎	003	RC	3	2,456	41	旧	済	済	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40
昭和小学校	屋内運動場	011	RC	2	1,058	41	旧	済	-	-	-	長寿命	A	C	C	C	C	45
昭和中学校	校舎・食堂	012-1	RC	3	2,158	36	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	B	B	49
昭和中学校	屋内運動場	001-1	SRC	2	1,059	36	新	済	-	-	-	長寿命	B	C	B	B	B	65

(2) 長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果

ア. 長寿命化のコストの見通し

今後 10 年間の実施計画は次のとおりです。

表 6-2：今後 10 年間の実施計画

改築		年度				
施設名称	建物種類	年度				
		2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)
昭和小学校	校舎	0	0	0	0	0
	屋内運動場	0	0	0	0	0
	給食室	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0
昭和中学校	校舎・食堂	0	0	0	0	0
	屋内運動場	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0
学校給食センター	学校給食センター	0	0	0	0	62,370
施設整備費 計		0	0	0	0	62,370
その他施設整備費		171	171	171	171	171
維持修繕費		2,465	2,465	2,465	2,465	2,465
光熱水費・委託費		9,795	9,795	9,795	9,795	9,795
合計		12,431	12,431	12,431	12,431	74,801

単位：千円

施設名称	建物種類	年度				
		2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	2029(R11)	2030(R12)
昭和小学校	校舎	1,316,568 千円 (小中一貫校など規模を 現在の 60%程度に抑えた 場合を想定しています)				
	屋内運動場					
	給食室					
	計					
昭和中学校	校舎・食堂					
	屋内運動場					
	計					
学校給食センター	学校給食センター	0	0	0	0	0
施設整備費 計		658,284	658,284	0	0	0
その他施設整備費		171	171	171	171	171
維持修繕費		2,465	2,465	2,465	2,465	2,465
光熱水費・委託費		9,795	9,795	9,795	9,795	9,795
合計		670,715	670,715	12,431	12,431	12,431

単位：千円

イ. 今後の維持・更新コスト（実施計画反映型）

今後の維持・更新コスト（長寿命化型）を用いてもコストが抑制されないため、施設保有規模の縮減を検討する必要があります。

今後の少子化の影響を考慮し、小中学校の規模を現在の60%程度に抑えた場合の今後の維持・更新コストは、約22.0億円（1年あたり約0.6億円）のコストが必要になると試算され、過去の施設関連経費（1年あたり約0.2億円）の2.6倍に抑制されます。

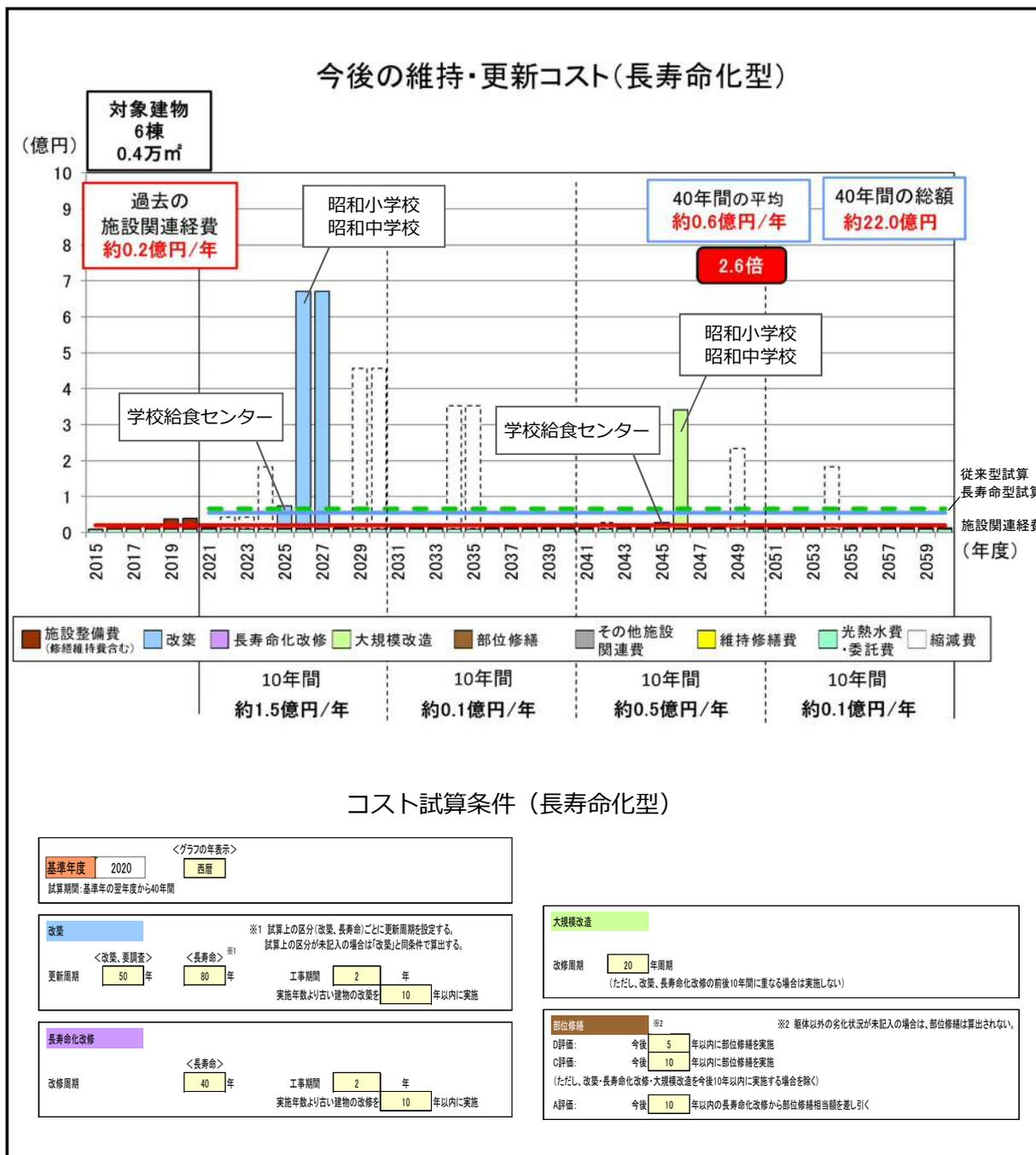


図 6-1：今後の維持・更新コスト（長寿命化型）

イ. 長寿命化の効果

従来型による将来コストの算出結果に対し、長寿命化型及び実施計画反映型による将来コストの算出結果を比較することで、本村の学校施設における将来コストの縮減効果を確認すると、次のとおりになります。

表 6-3：長寿命化の効果

単位：億円

算出方法	40年間の総額		40年間の平均		従来型を100とした時の縮減比率
	金額	従来型に対する差額	金額	従来型に対する差額	
従来型	37.3		0.9		100.0
長寿命化型	37.7	0.4	0.9	0.01	101.1
実施計画反映型	22.0	15.3	0.6	0.3	59.0

本村における学校施設の場合、従来型における改築時期が後ろ倒しになるだけであり、長寿命化型のコスト縮減効果は見られません。よって、施設保有規模を縮小するなどの実施計画反映型などの維持・更新を行うことで、将来のコストの縮減効果が得られると考えられます。

実施計画反映型の将来コスト試算によると従来型の将来コスト試算と比べて、今後40年間の総額で約15.3億円、40年間の平均で1年あたり約0.3億円の将来コスト縮減が期待できます。

第7章 長寿命化計画の継続的運用方針の検討

(1) 情報基盤の整備と活用

振興計画と連携し、公有財産台帳に基づく施設情報、学校施設台帳を継続的かつ効率的に更新する仕組みを検討します。建築基準法第12条に基づく定期点検(建築物・建築設備・防火設備)や定期的・日常的に行われる、修繕、整備工事等の実績等の情報を適切に記録し、施設の劣化状況等を最新の状態に更新します。

特に、本計画のPDCAサイクルを着実に実行していくために、継続的な実態把握によるデータベースの蓄積と一元的な管理を行い、継続的な学校施設マネジメントを実行します。

(2) 推進体制等の整備

本計画を継続的に運用していくために、教育委員会を中心に庁内関係部署間で横断的に連携を図り、本計画を村全体の取り組みとして推進するため、推進体制の構築を図ります。

劣化状況の的確な把握及び学習環境の実態把握に努め、本計画に基づく長寿命化改修等を着実に実施します。

また、本計画を効率的に実施するためには、予算編成部署との連携が必要不可欠であることから、本計画により必要となる費用について、村全体の予算を踏まえながら確保に努めます。

(3) フォローアップ

学校施設長寿命化計画(個別施設計画)について、計画期間の範囲内であっても、定期的に計画の達成状況等について正確に把握し、フォローアップを実施します。

計画見直しにおいては、目指すべき姿の実現や本計画の効率的な運営に資する改善策を検討するとともに、継続的かつ不断の見直しに努めます。

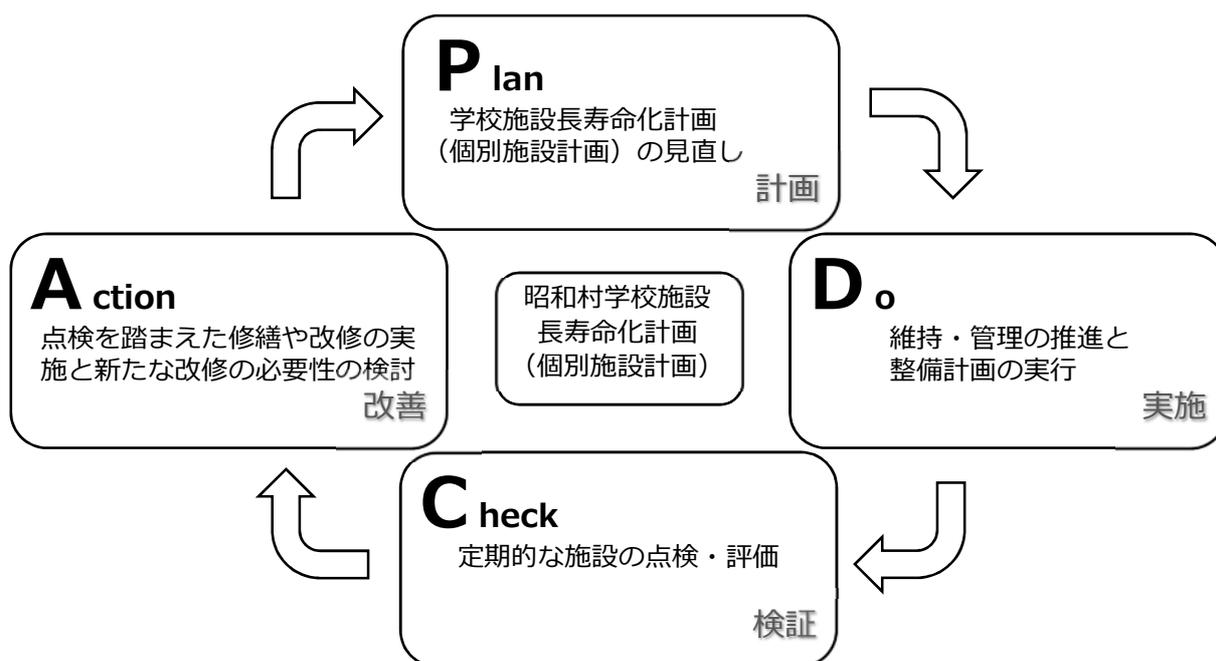


図 7-1 : PDCA サイクル

昭和村学校施設長寿命化計画（個別施設計画）

発行 令和3年3月
作成 昭和村教育委員会
TEL 0241-57-2164
FAX 0241-58-1010

通し番号	1		施設名	昭和小学校	施設番号	804	調査日	令和2年9月11日
建物名	校舎					記入者	春日 雅克	
棟番号	001			建築年度	昭和54 年度(1979 年度)			
構造種別	RC	延床面積	2,456 m ²		階数	地上 3 階 地下 階		

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	<input type="checkbox"/> アスファルト保護防水			<input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある		法定点検結果あり 指摘事項あり ・ドレーン蓋無し (一部)(2箇所) ・シート防水たるみ (1箇所) ※20200911外観 補足調査 パラ ベットの汚れ、校舎 東側軒天雪等による 損傷	C
	<input type="checkbox"/> アスファルト露出防水			<input type="checkbox"/> 天井等に雨漏り痕がある			
	<input type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水			<input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れ等がある			
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根(長尺金属板、折板)			<input type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・損傷がある			
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根(スレート、瓦類)			<input type="checkbox"/> 笠木・立上り等に損傷がある			
	<input type="checkbox"/> その他の屋根 ()			<input type="checkbox"/> 樋やルーフトレを目視点検できない			
				<input checked="" type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			
2 外壁	<input type="checkbox"/> 塗仕上げ			<input type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある		法定点検結果あり 指摘事項あり ・軒天、外壁 爆裂 欠損(3箇所) ・軒天 塗膜剥離、 ウレタン防水剥離 (2箇所) ・軒天 樋劣化欠損 (1箇所) ・配管支持部材発錆 (1箇所) ※20200911外観 補足調査 基礎周 り亀甲割れ、外壁 全体的に塗膜劣化	C
	<input type="checkbox"/> タイル張り、石張り			<input type="checkbox"/> 外壁から漏水がある			
	<input type="checkbox"/> 金属系パネル			<input type="checkbox"/> 塗装の剥がれ			
	<input type="checkbox"/> コンクリート系パネル(ALC等)			<input type="checkbox"/> タイルや石が剥がれている			
	<input type="checkbox"/> その他の外壁 ()			<input type="checkbox"/> 大きな亀裂がある			
	<input type="checkbox"/> アルミ製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りで漏水がある			
	<input type="checkbox"/> 鋼製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアに錆・腐食・変形がある			
	<input type="checkbox"/> 断熱サッシ、省エネガラス			<input type="checkbox"/> 外部手すり等の錆・腐朽			
				<input checked="" type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	<input type="checkbox"/> 老朽改修		経年から判断	C
	<input type="checkbox"/> エコ改修		法定点検結果あり 指摘事項あり ・防火戸の建付け不良 3箇所 ・天井漏水痕(2F男子トイレ)	
	<input type="checkbox"/> トイレ改修			
	<input type="checkbox"/> 法令適合			
	<input type="checkbox"/> 校内LAN			
	<input type="checkbox"/> 空調設置			
	<input type="checkbox"/> 障害児等対策			
	<input type="checkbox"/> 防犯対策			
	<input type="checkbox"/> その他、内部改修工事			
4 電気設備	<input type="checkbox"/> 分電盤改修		経年から判断	C
	<input type="checkbox"/> 配線等の敷設工事		法定点検結果あり 指摘事項あり ・誘導灯確認用ヒモなしのため 蓄電池残量不確定(7箇所) ・バッテリーランプ(2箇所)	
	<input type="checkbox"/> 昇降設備保守点検			
	<input type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	<input type="checkbox"/> 給水配管改修		経年から判断	C
	<input type="checkbox"/> 排水配管改修		法定点検結果あり 指摘事項あり ・換気扇の換気量不足(1箇所) ・換気扇の無作動(1箇所) ・衛生器具の取付不良(1箇所)	
	<input type="checkbox"/> 消防設備の点検			
	<input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事			

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載)
法定点検を参考に評価したもの。

健全度

40

100点

通し番号	2				
施設名	昭和小学校	施設番号	804	調査日	令和2年9月11日
建物名	屋内運動場			記入者	春日 雅克
棟番号	002	建築年度	昭和54 年度(1979 年度)		
構造種別	RC	延床面積	1,058 m ²	階数	地上 2 階 地下 階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	<input type="checkbox"/> アスファルト保護防水	R2	塗装工事	<input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある		法定点検結果あり 指摘事項あり ・屋根部全般に 錆、軒先損傷 →R2年度塗装工 事済みのためA評 価とする。	A
	<input type="checkbox"/> アスファルト露出防水			<input type="checkbox"/> 天井等に雨漏り痕がある			
	<input type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水			<input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れ等がある			
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根(長尺金属板、折板)			<input type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・損傷がある			
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根(スレート、瓦類)			<input type="checkbox"/> 笠木・立上り等に損傷がある			
	<input type="checkbox"/> その他の屋根 ()			<input type="checkbox"/> 樋やルーフトレンを目視点検できない			
				<input checked="" type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			
2 外壁	<input type="checkbox"/> 塗仕上げ			<input type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある		法定点検結果あり 指摘事項あり ・軒先先端爆裂 (2箇所) ・外壁爆裂(1箇所)	C
	<input type="checkbox"/> タイル張り、石張り			<input type="checkbox"/> 外壁から漏水がある			
	<input type="checkbox"/> 金属系パネル			<input type="checkbox"/> 塗装の剥がれ			
	<input type="checkbox"/> コンクリート系パネル(ALC等)			<input type="checkbox"/> タイルや石が剥がれている			
	<input type="checkbox"/> その他の外壁 ()			<input type="checkbox"/> 大きな亀裂がある			
	<input type="checkbox"/> アルミ製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りで漏水がある			
	<input type="checkbox"/> 鋼製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアに錆・腐食・変形がある			
	<input type="checkbox"/> 断熱サッシ、省エネガラス			<input type="checkbox"/> 外部手すり等の錆・腐朽			
				<input checked="" type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	<input type="checkbox"/> 老朽改修		経年から判断	C
	<input type="checkbox"/> エコ改修			
	<input type="checkbox"/> トイレ改修			
	<input type="checkbox"/> 法令適合			
	<input type="checkbox"/> 校内LAN			
	<input type="checkbox"/> 空調設置			
	<input type="checkbox"/> 障害児等対策			
	<input type="checkbox"/> 防犯対策			
	<input type="checkbox"/> 構造体の耐震対策			
4 電気設備	<input type="checkbox"/> 分電盤改修		経年から判断	C
	<input type="checkbox"/> 配線等の敷設工事			
	<input type="checkbox"/> 昇降設備保守点検			
	<input type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	<input type="checkbox"/> 給水配管改修		経年から判断	C
	<input type="checkbox"/> 排水配管改修			
	<input type="checkbox"/> 消防設備の点検			
	<input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事			

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載)
法定点検を参考に評価したもの。

健全度
45 / 100点

通し番号	3				
施設名	昭和小学校	施設番号	804	調査日	令和2年9月11日
建物名	専用食堂			記入者	春日 雅克
棟番号	003	建築年度	昭和54 年度(1979 年度)		
構造種別	RC	延床面積	272 m ²	階数	地上 1 階 地下 階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	<input type="checkbox"/> アスファルト保護防水			<input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある		法定点検結果あり 指摘事項あり ・シート防水たるみ 1箇所 ・経年から判断 ※20200911外観 補足調査 バラ ベット汚れ	C
	<input type="checkbox"/> アスファルト露出防水			<input type="checkbox"/> 天井等に雨漏り痕がある			
	<input type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水			<input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れ等がある			
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根(長尺金属板、折板)			<input type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・損傷がある			
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根(スレート、瓦類)			<input type="checkbox"/> 笠木・立上り等に損傷がある			
	<input type="checkbox"/> その他の屋根 ()			<input type="checkbox"/> 樋やルーフトレンを目視点検できない			
				<input checked="" type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			
2 外壁	<input type="checkbox"/> 塗仕上げ			<input type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある		法定点検結果あり 指摘事項あり 経年より判断 ※20200911外観 補足調査 基礎周 り亀甲割れ、外壁 全体的に塗膜劣 化	C
	<input type="checkbox"/> タイル張り、石張り			<input type="checkbox"/> 外壁から漏水がある			
	<input type="checkbox"/> 金属系パネル			<input type="checkbox"/> 塗装の剥がれ			
	<input type="checkbox"/> コンクリート系パネル(ALC等)			<input type="checkbox"/> タイルや石が剥がれている			
	<input type="checkbox"/> その他の外壁 ()			<input type="checkbox"/> 大きな亀裂がある			
	<input type="checkbox"/> アルミ製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りで漏水がある			
	<input type="checkbox"/> 鋼製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアに錆・腐食・変形がある			
	<input type="checkbox"/> 断熱サッシ、省エネガラス			<input type="checkbox"/> 外部手すり等の錆・腐朽			
			<input checked="" type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある				

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	<input type="checkbox"/> 老朽改修		経年から判断	C
	<input type="checkbox"/> エコ改修		法定点検結果あり 指摘事項なし	
	<input type="checkbox"/> トイレ改修			
	<input type="checkbox"/> 法令適合			
	<input type="checkbox"/> 校内LAN			
	<input type="checkbox"/> 空調設置			
	<input type="checkbox"/> 障害児等対策			
	<input type="checkbox"/> 防犯対策			
	<input type="checkbox"/> 構造体の耐震対策			
4 電気設備	<input type="checkbox"/> 分電盤改修		経年から判断	C
	<input type="checkbox"/> 配線等の敷設工事		法定点検結果あり 指摘事項あり ・誘導灯確認用ヒモなしのため 蓄電池残量不確定(1箇所)	
	<input type="checkbox"/> 昇降設備保守点検		・バッテリーランプ(1箇所)	
	<input type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	<input type="checkbox"/> 給水配管改修		経年から判断	C
	<input type="checkbox"/> 排水配管改修		法定点検結果あり 指摘事項あり ・換気扇の換気量不足(1箇所)	
	<input type="checkbox"/> 消防設備の点検			
	<input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事			

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載)
法定点検を参考に評価したもの。

健全度
40 / 100点

通し番号	14		
施設名	昭和中学校	施設番号	3857
建物名	校舎	調査日	令和2年9月11日
棟番号	011	記入者	春日 雅克
構造種別	RC	建築年度	昭和59 年度 (1984 年度)
	延床面積	2,008 m ²	階数
			地上 3 階 地下 階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	<input type="checkbox"/> アスファルト保護防水			<input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある		法定点検結果あり 指摘事項あり ・屋上ドレーンつまり(1箇所) ・屋上アルミ手摺曲がり(1箇所) ・2階アルミ手摺止め金具ビス損失(1箇所) ※20200911外観補足調査	C
	<input type="checkbox"/> アスファルト露出防水			<input type="checkbox"/> 天井等に雨漏り痕がある			
	<input type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水			<input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れ等がある			
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根(長尺金属板、折板)			<input type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・損傷がある			
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根(スレート、瓦類)			<input type="checkbox"/> 笠木・立上り等に損傷がある			
	<input type="checkbox"/> その他の屋根 ()			<input type="checkbox"/> 樋やルーフトレを目視点検できない			
				<input checked="" type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			
2 外壁	<input type="checkbox"/> 塗仕上げ			<input type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある		法定点検結果あり 指摘事項あり ・外壁剥がれ3箇所 ・下がり端部爆裂(5箇所)・軒天塗膜防水剥離、塗装剥がれ(3箇所) ・袖壁部鉄筋爆裂(3箇所) ※20200911外観補足調査 基礎周りに亀甲割れ、外壁全体的に塗膜劣化、北側コケ繁茂	C
	<input type="checkbox"/> タイル張り、石張り			<input type="checkbox"/> 外壁から漏水がある			
	<input type="checkbox"/> 金属系パネル			<input type="checkbox"/> 塗装の剥がれ			
	<input type="checkbox"/> コンクリート系パネル(ALC等)			<input type="checkbox"/> タイルや石が剥がれている			
	<input type="checkbox"/> その他の外壁 ()			<input type="checkbox"/> 大きな亀裂がある			
	<input type="checkbox"/> アルミ製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りで漏水がある			
	<input type="checkbox"/> 鋼製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアに錆・腐食・変形がある			
	<input type="checkbox"/> 断熱サッシ、省エネガラス			<input type="checkbox"/> 外部手すり等の錆・腐朽			
			<input checked="" type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある				

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	<input type="checkbox"/> 老朽改修		経年から判断	C
	<input type="checkbox"/> エコ改修		法定点検結果あり 指摘事項あり ・1F技術教室天井雨漏れ痕(1箇所) ・3Fコンピュータ室天井材結露による一部落下(1箇所)	
	<input type="checkbox"/> トイレ改修		・防火扉の建付け不良(4箇所) ・1F準備室 床タイル剥がれあり(1箇所)	
	<input type="checkbox"/> 法令適合			
	<input type="checkbox"/> 校内LAN			
	<input type="checkbox"/> 空調設置			
	<input type="checkbox"/> 障害児等対策			
	<input type="checkbox"/> 防犯対策			
	<input type="checkbox"/> 構造体の耐震対策			
4 電気設備	<input type="checkbox"/> 分電盤改修		経年から判断	B
	<input type="checkbox"/> 配線等の敷設工事		法定点検結果あり 指摘事項なし	
	<input type="checkbox"/> 昇降設備保守点検			
	<input type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	<input type="checkbox"/> 給水配管改修		経年から判断	B
	<input type="checkbox"/> 排水配管改修		法定点検結果あり 指摘事項あり ・助言: 換気扇フードなし(9箇所) ・助言: 換気扇外部面のシャッター不動作(2箇所) ・受水槽の配管破損(未使用)	
	<input type="checkbox"/> 消防設備の点検			
	<input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事			

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載)
法定点検を参考に評価したもの。

健全度
49 / 100点

通し番号	15		
施設名	昭和中学校	施設番号	3857
建物名	屋内運動場	調査日	令和2年9月11日
棟番号	012-1	記入者	春日 雅克
棟番号	012-1	建築年度	昭和59 年度(1984 年度)
構造種別	RC	延床面積	1,059 m ²
		階数	地上 2 階 地下 階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	<input type="checkbox"/> アスファルト保護防水	H21	塗装工事	<input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある		法定点検結果あり 指摘事項なし	B
	<input type="checkbox"/> アスファルト露出防水			<input type="checkbox"/> 天井等に雨漏り痕がある			
	<input type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水			<input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れ等がある			
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根(長尺金属板、折板)			<input type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・損傷がある			
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根(スレート、瓦類)			<input type="checkbox"/> 笠木・立上り等に損傷がある			
	<input type="checkbox"/> その他の屋根 ()			<input type="checkbox"/> 樋やルーフトレンを目視点検できない			
				<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			
2 外壁	<input type="checkbox"/> 塗仕上げ			<input type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある		法定点検結果あり 指摘事項あり ・鉄筋露出(1箇所) ・外壁表面材の剥離(2箇所) ・サイディング劣化(3箇所)	C
	<input type="checkbox"/> タイル張り、石張り			<input type="checkbox"/> 外壁から漏水がある			
	<input type="checkbox"/> 金属系パネル			<input type="checkbox"/> 塗装の剥がれ			
	<input type="checkbox"/> コンクリート系パネル(ALC等)			<input type="checkbox"/> タイルや石が剥がれている			
	<input type="checkbox"/> その他の外壁 ()			<input type="checkbox"/> 大きな亀裂がある			
	<input type="checkbox"/> アルミ製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りで漏水がある			
	<input type="checkbox"/> 鋼製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアに錆・腐食・変形がある			
	<input type="checkbox"/> 断熱サッシ、省エネガラス			<input type="checkbox"/> 外部手すり等の錆・腐朽			
				<input checked="" type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	<input type="checkbox"/> 老朽改修		経年から判断	B
	<input type="checkbox"/> エコ改修		法定点検結果あり 指摘事項あり ・防火扉の建付け不良(1箇所)	
	<input type="checkbox"/> トイレ改修			
	<input type="checkbox"/> 法令適合			
	<input type="checkbox"/> 校内LAN			
	<input type="checkbox"/> 空調設置			
	<input type="checkbox"/> 障害児等対策			
	<input type="checkbox"/> 防犯対策			
	<input type="checkbox"/> その他、内部改修工事			
4 電気設備	<input type="checkbox"/> 分電盤改修		経年から判断	B
	<input type="checkbox"/> 配線等の敷設工事			
	<input type="checkbox"/> 昇降設備保守点検			
	<input type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	<input type="checkbox"/> 給水配管改修		経年から判断	B
	<input type="checkbox"/> 排水配管改修			
	<input type="checkbox"/> 消防設備の点検			
	<input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事			

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載)

法定点検を参考に評価したもの。

連絡通路(198m²)

健全度

65

100点

通し番号	26			調査日	令和2年9月11日
施設名	学校給食センター	施設番号		記入者	春日 雅克
建物名				建築年度	昭和47年度(1972年度)
棟番号				階数	地上 1階 地下 階
構造種別	S	延床面積	175 m ²		

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	<input type="checkbox"/> アスファルト保護防水			<input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある		軒母屋材の変形がある。 軒裏野地板露出部に雨水による変色の痕跡がある。	C
	<input type="checkbox"/> アスファルト露出防水			<input type="checkbox"/> 天井等に雨漏り痕がある			
	<input type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水			<input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れ等がある			
	<input checked="" type="checkbox"/> 勾配屋根(長尺金属板、折板)			<input type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・損傷がある			
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根(スレート、瓦類)			<input type="checkbox"/> 笠木・立上り等に損傷がある			
	<input type="checkbox"/> その他の屋根 ()			<input type="checkbox"/> 樋やルーフトレンを目視点検できない			
				<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			
2 外壁	<input checked="" type="checkbox"/> 塗仕上げ			<input type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある		基礎部-クラックの確認(多数)。 壁(既存部)-クラックの確認(多数)、母屋取りあい割れを確認。 壁(増築部)-金属パネルの外力に変形	C
	<input type="checkbox"/> タイル張り、石張り			<input checked="" type="checkbox"/> 外壁から漏水がある			
	<input type="checkbox"/> 金属系パネル			<input checked="" type="checkbox"/> 塗装の剥がれ			
	<input type="checkbox"/> コンクリート系パネル(ALC等)			<input type="checkbox"/> タイルや石が剥がれている			
	<input type="checkbox"/> その他の外壁 ()			<input checked="" type="checkbox"/> 大きな亀裂がある			
	<input type="checkbox"/> アルミ製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りで漏水がある			
	<input type="checkbox"/> 鋼製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアに錆・腐食・変形がある			
	<input type="checkbox"/> 断熱サッシ、省エネガラス			<input type="checkbox"/> 外部手すり等の錆・腐朽			
			<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある				

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	<input type="checkbox"/> 老朽改修		床-塗床の経年による劣化	C
	<input type="checkbox"/> エコ改修		壁-クラックの発生(多数)	
	<input type="checkbox"/> トイレ改修		外壁に面したクラックからのエフロの発生	
	<input type="checkbox"/> 法令適合		塗装の劣化	
	<input type="checkbox"/> 校内LAN			
	<input type="checkbox"/> 空調設置			
	<input type="checkbox"/> 障害児等対策			
	<input type="checkbox"/> 防犯対策			
	<input type="checkbox"/> 構造体の耐震対策			
4 電気設備	<input type="checkbox"/> 分電盤改修		経年より判断	C
	<input type="checkbox"/> 配線等の敷設工事			
	<input type="checkbox"/> 昇降設備保守点検			
	<input type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	<input type="checkbox"/> 給水配管改修		経年より判断	C
	<input type="checkbox"/> 排水配管改修			
	<input type="checkbox"/> 消防設備の点検			
	<input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事			

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載) 外観調査により評価したもの。

健全度
40 / 100点